

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

銀山学習の情報を発信します～発刊にあたって

平成19年7月に石見銀山遺跡が世界遺産登録されて今年で5周年を迎えます。「石見銀山ウォーキングミュージアム」をキャッチフレーズに、6月から12月まで官民あげてさまざまなイベントが計画されています。

平成23年度から開始された石見銀山基金を利用した学習は、今年度も市内のほとんどの小中学校で実施されます。大部分が秋に集中し、大久保間歩見学をはじめ大森地区や温泉津地区で緑り広げられる予定です。

この『たより』は、市教研「総合的な学習部」前部長



の板倉先生(五十猛小校長)に勧められ、発行を思い立ちました。ささやかなミニコミ誌ですが、銀山や銀山学習についてのさまざまな情報を学校へお届けします。各学校が情報を共有することで風通しがよくなり、銀山学習がさらに進むことを願っています。

発行は月に1回、月末を予定。各学校の銀山学習も取材します。投稿も大歓迎です。どうぞよろしくお願いたします。<写真は、石州文禄丁銀(古代出雲歴史博物館蔵)>

今年度最初の銀山学習～北三瓶中学校

4月19日(木)、1・2年生10人が参加して現地学習が行われました。昼食をはさんで4時間のコースです。

世界遺産センターで概要を学んだあと、10時半新緑の仙ノ山へ出発。コースは、本谷→石銀→佐毘売山神社→銀山公園。まず石見銀山最大級の久保間歩に入坑し、真っ暗な坑道をガイドの説明で見学しました。

その後、釜屋間歩、岩盤遺構を目指しました。この付近は本谷でも間歩、露頭掘、吹屋(製錬所)などが集中しているところ。長い階段が刻まれ、三段に加工された岩盤遺構前では、みんなその大きさに驚いていました。

さらに、標高470メートルの平坦地に広がる鉱山町跡(石銀地区)に登り、柄畑谷にある銀山の守り神・佐毘売山神社へ下山。午後3時には無事銀山公園到着。疲れたようでしたが、楽しい銀山学習となったようです。



大森小学校でワークショップ

世界遺産学習ワークショップが4月23日(月)、大森小学校で開かれ、3年から6年生まで12名の子供たちが参加しました。世界遺産専攻の筑波大学の教員・学生6名がサポートしました。テーマは「未来につなげる石見銀山学校をつくろう!」です。

2班に分かれて作業。これまでの銀山学習で興味をもったことを書き出し、それをグルーピングし、班ごとに発表しました。次に「どんな銀山学校にしたい?」との問いかけに、一人ひとりが紙に書いて発表しました。「間歩のことを調べたい」「タケノコ掘りをしたい」「勉強してガイドになりたい」などがありました。

最後に先生が「学ぶ、伝える、守る、つくる」ことが大事だと総括されました。あと3回ワークショップが行われます。どんなふうに発展していくか楽しみです。



鞆ヶ浦にサテライト施設が完成

鞆ヶ浦^{ともがうら}は、仁摩町馬路^{まじ}にあります。16世紀の前半、銀や銀鉱石の積出し港として使われました。ここに世界遺産センターのサテライト施設として、「鞆館^{ともかん}」が完成。4月21日(土)に開館式典が行われました。

「鞆館」は、民家を改修して造られ、インフォメーションと休憩施設としての機能を持っています。鞆ヶ浦のパンフレットや歴史を説明するパネルも備えています。

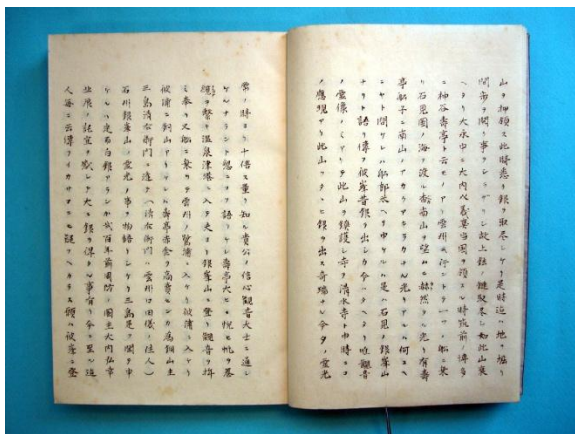
入場料:無料、トイレ:あり、開館時間:9時~17時、休館日:12月1日~2月末、連絡先:石見銀山世界遺産センター(89-0183)



世界遺産センターのサテライト施設、鞆館

銀山旧記～石見銀山に関する図書紹介①

「銀山旧記」は、『石見銀山要集』の冒頭に納められている。『要集』は、文化13年(1816)、石見銀山の地役人大賀覚兵衛が編纂した。銀山の歴史や技術、経営などを、新任の代官に説明する必要から作られた。



「銀山旧記」 神屋寿禎による再開発を記すページ(右側)

「銀山旧記」は、鎌倉時代から江戸時代初期までの出来事が年を追って記述されている。

博多の商人神屋寿禎が仙ノ山で本格的に銀の採掘を始めたこと、初代石見銀山奉行として大久保長安が銀山を支配したこと、江戸初期には20万人が暮らし、1日に費やす米穀が1500石余もあったことなどの記事が見える。

石見銀山の始まりから最盛期まで、激動する時代の様子を知らうる貴重な史料である。

(参考:小林准士『銀山旧記』島根県教育委員会 2003年)

石見銀山課からのお願いとお知らせ

■『現地学習実施計画』は実施日の一ヶ月前までにご提出を!!

学校が作成された実施計画に基づいて、世界遺産センターと学校で事前に協議をします。バスが入るか、時間は大丈夫か、コースは合理的か、などです。学習内容の相談も受け付けています。各施設の概要、利用方法、申請の仕方などは、校長会で配布した『石見銀山学習施設等利用案内』をご参照ください。

■各種申請に必要な書類は、**共用**—**教育委員会**—**銀山学習**—**様式**にあります

校長会の要望に答えて、申請書類を減らし、簡略化しました。世界遺産センター、龍源寺間歩、熊谷家、旧河島家で使用する書類は、5月から新しくなります。不明な点は、いつでも担当者へお尋ねください。

担当者連絡先

世界遺産センター	青木俊介	(tel 89-0183	fax 89-0089	e-mail	o-igwhc@iwamigin.jp)
石見銀山課	勝部 衛	(tel 82-1600	fax 84-9156	e-mail	isan-gakushu@iwamigin.jp)